

様式2

大学等における修学の支援に関する法律による 授業料減免の対象者の認定の継続に関する申請書

(西暦) 年 月 日

(宛先) 公立大学法人下関市立大学理事長

私は公立大学法人下関市立大学（以下「法人」という。）に対し、大学等における修学の支援に関する法律による授業料減免の継続を申請します。

申請にあたって、私は以下の事項を確認し、理解しています。

- ◆ この申請書の記載事項は事実と相違ありません。なお、申請書の記載事項に事実と相違があった場合、認定を取り消され、減免を打ち切られることがあるとともに、法人において減免を受けた金額の支払を求められることがあることを承知しています。
- ◆ 授業料等減免の対象者の認定手続きにおいて、独立行政法人日本学生支援機構（以下、「機構」という。）を通じ、法人が機構の保有する私の給付奨学金に関する情報の送付を受けること及び機構が法人の保有する私の授業料等減免等に関する情報の送付を受けることに同意します。

※以下のすべての項目を申請者本人が記入してください。

申請者	フリガナ		入学年月	(西暦) 年 月 入学	
	氏名				
	生年月日	(西暦) 年 月 日生 (歳)			
	現住所	〒 都道府県 市区町村			
	学部・学科等	経済学部 学科	学籍番号		
	学年	昼間・夜間・通信の別	<input checked="" type="checkbox"/> 昼（昼夜開講を含む） <input type="checkbox"/> 夜 <input type="checkbox"/> 通信		
	日本学生支援機構の給付奨学金に関する情報				
	給付奨学金の奨学生番号				

- ※ 日本学生支援機構の給付奨学金を併せて受けていただくことが基本です。「日本学生支援機構の給付奨学金に関する情報」の欄を記入できない場合は、別紙を必ず提出してください。
- ※ 申請書に記載された内容及び提出された書類の情報は、授業料等減免の認定及び法人が実施する経済支援のために利用します。また、今後の授業料等減免制度の検討のため、統計資料の作成に利用する場合がありますが、作成に際しては個人が特定できないように処理します。
- ※ 給付奨学金を受給しておらず、「機構の給付奨学金に関する情報」の欄を記入できない場合は、別紙1の提出(年1回)が必要です。家計急変による事由の場合は、別紙1に代えて別紙2の提出が必要です。(給付奨学金をあわせて受給している場合は、別紙2の提出は不要です。)